

地域社会の発展に貢献し、会員顧客の繁栄に寄与することは、当金庫の経営理念であり、中小企業の再生と地域経済の活性化を基本とした、持続的発展が可能な地域社会づくりに向けた取組みを推進しています。

## 1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

### 1. ライフステージ等に応じた取引先企業の支援強化

#### (1) 創業・新事業開拓を目指す企業への支援

- 創業・新事業支援に向けた支援策のPRと、将来性のある事業先等の発掘・育成

- ✓ 日本政策金融公庫および各地区商工会議所・商工会と連携した創業セミナーの実施

#### 【取組み結果】

- 各地区商工会議所・商工会が開催する創業セミナーに日本政策金融公庫と共に参加し、創業の事例等を交えて講演を行いました。  
◇ 当金庫の創業セミナーでの講演回数・・・4回
- 京都府中丹広域振興局主催の女性を対象とした「中丹スモールビジネス起業塾」が計10回にわたり開催され、当金庫からは女性職員2名が金融に関するミニ講座を行いました。

- ✓ 観光業支援を含めた新規創業・新事業支援融資商品による積極的な資金供給の実施

#### 【取組み結果】

- 平成27年4月より、創業者の利便性を考慮し創業支援融資「ドリーム」の商品性を改定しました。また、平成27年7月に日本政策金融公庫と創業分野において連携協定を締結し、創業に向けたサポートをワンストップで提供する体制を整え雇用促進・地域活性化に努めました。  
◇ 創業支援融資取組実績（日本政策金融公庫との連携含む）・・・17件、125百万円（極度実行含む）

- 農林業経営者の積極支援

- ✓ きょうと農林漁業成長支援ファンドを活用した、地域内の6次産業化支援

#### 【取組み結果】

- 平成28年3月に、第1号案件への出資が決定致しました。今後は、本ファンドの活用だけでなく「きょうと農業ビジネスプラットフォーム」を活用した農業6次産業化や農商工連携などの取組みも進め、北部地域の強みを生かした農業ビジネスの展開に結び付けるべく取組んでまいります。

- ✓ 農業分野に特化した融資商品の提供による積極的な資金供給の実施

【取組み結果】

- 農業経営者のニーズに迅速に対応するなど、農業水産関連融資の取組みに注力しました。
  - ◇ 農業水産関連融資取組実績・・・19件、128百万円

(2) 成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援

● お客さまのニーズに応じた経営情報等の提供

- ✓ 各種業界団体と連携し、各地で開催される各種ビジネスフェア・商談会等の出展支援

【取組み結果】

- 信金中央金庫や他信用金庫との連携強化により、全国各地のビジネスフェア・商談会等への出展支援を行いました。出展案内だけでなく、商談会への職員同席や終了後の聞き取りにより、バイヤーから指摘された課題をお客さまと共有し、課題解決へ向けて一体となって取組むよう努めています。
  - ◇ ビジネスフェア・商談会等への出展支援・・・186社
  - ◇ ビジネスマッチング成立件数・・・5件

- ✓ 当金庫営業エリア内におけるお客さま企業間のビジネスマッチングを積極推進

【取組み結果】

- 亀岡以北の多店舗展開のメリットを生かし、マッチングニーズに関する情報を当金庫内でリアルタイムに共有できるビジネスマッチング掲示板を活用し、当金庫お取引先企業間のビジネスマッチングに取り組んでいます。
- 当金庫エリア内に立ち上げている「若手経営者の会」を中心に、心理学理論を効果的にビジネスに応用する若手経営者向け講演会を開催しました。また、講演会と同時に若手経営者同士の交流会も行い、自社PRや自社商品・製品等の展示により広域なエリアでのビジネスマッチングを促進しました。
- 「ほくとしんきんビジネスクラブ」会員向けに、補助金情報や入札情報のタイムリーな情報提供、ホームページ作成サービス等の提供を行いました。また、競合に勝つための中小企業が取るべき差別化戦略についてセミナーを開催しました。
  - ◇ 「ほくとしんきんビジネスクラブ」会員数・・・236社
  - ◇ 補助金情報提供先数・・・12社

- ✓ 中小企業庁が提供する「ミラサポ」の利用促進と、地域プラットフォームとしての企業支援

【取組み結果】

- 「ミラサポ」の専門家派遣を利用し、お客さまの課題解決の一助として取組みました。
  - ◇ 「ミラサポ」を活用した専門家派遣件数・・・3件
- 平成28年2月に、近畿経済産業局を講師とする「補助金説明会」を開催し、取引先の積極的な活用を促進しました。また、「ものづくり補助金」申請書作成のサポートのため、外部専門家と連携した「個別相談会」を開催しました。
  - ◇ 個別相談会の開催件数・・・8回
  - ◇ ものづくり補助金の申請企業数・・・20社

● 産学連携による企業支援

- ✓ 国立大学法人京都工芸繊維大学ならびに国立舞鶴工業高等専門学校、および平成26年度に新たに加盟した京都産学公連携機構のネットワークを活用した情報提供、および技術開発支援

【取組み結果】

- 国立大学法人京都工芸繊維大学ならびに国立舞鶴工業高等専門学校と連携協定を締結しており、京都産学公連携機構のネットワークを活用しながら、お客さまが抱える技術的課題や専門知識を要する課題等の解決へ向け仲介してまいります。

● 「事業性評価」を重視した資金供給手法の徹底

- ✓ 定期的な企業訪問活動により、お客さまの事業内容や成長可能性などを適切に評価する「事業性評価」の取組みによる、積極的な資金供給の実施

【取組み結果】

- 定期的な企業訪問活動によりお客さまとの日常的・継続的な関係強化を図り、事業内容や成長可能性などを適切に評価する「事業性評価」の活動を開始しました。事業性評価による経営支援活動強化に向け、企業のライフステージに応じた最適なソリューションの提案や担保・保証に依存しない資金供給に努めてまいります。
  - ◇ 事業性評価実施先数・・・295先

- ✓ 無担保小口融資商品や動産担保融資の取組みによる円滑な資金供給の実施

【取組み結果】

- お客さまへの円滑な資金供給を行うため、無担保小口当座貸越商品「スモールBローン」および、迅速な対応を可能とした無担保小口融資商品「スピーディー！」を取扱いました。
  - ◇ スモールBローン取組実績・・・152件、極度額517百万円
  - ◇ スピーディー！ 取組実績・・・367件、1,990百万円
- 動産担保ならびに売上債権を担保とした、新たな融資を取組みました。
  - ◇ 動産担保融資取組実績・・・12件、245百万円

- 事業性融資能力向上等、人材育成の強化による企業支援の実施

- ✓ 財務分析を踏まえた融資提案、および経営改善から事業承継までの一貫した研修による事業性融資能力の養成

【取組み結果】

- 事業承継についての提案や支援を実践出来る職員を養成する為、外部講師を招き「事業先リレーション強化プロジェクト研修会」を4回実施しました。事業承継税制や法務等の基本を学ぶことからスタートし、グループワークによるケース研究にて事業承継の総合的視野を養った後、実際にお客さまへ提案することで実践力の強化を図りました。

- ✓ 京都府中小企業再生支援協議会への職員派遣や、外部講師による庫内研修による、お客さまの「事業性評価」と課題解決の提案ができる職員の養成

【取組み結果】

- 京都府中小企業再生支援協議会に職員を派遣し、企業再生支援業務における実務研修を行わせるなど、中小企業の課題を発見・解決できる人材の育成に努めました。
- お客さまの事業内容・特性・成長可能性を適切に評価し課題解決できる職員を養成する為、外部講師を招き「事業性評価研修会」を2回実施しました。お客さまのビジネスモデル図を作成し、SWOT分析により強み弱みを整理し課題解決に繋げる一連の流れを、事例を使い研修しました。今後も継続的に実施し、職員のレベルアップと課題解決の提案できる職員の養成に努めてまいります。

### (3) 経営改善が必要な企業への支援

#### ● 取引先に対する経営改善指導の推進

- ✓ 外部専門家と連携し、取引先の実態に合わせた各種経営改善指導および経営改善計画書の作成支援

##### 【取組み結果】

- 外部専門家（公認会計士・税理士・コンサル等）との連携により、お客さまが抱えている経営課題を認識し経営改善に向けた取組みができるよう、実効性が伴う計画策定へ向け注力しています。

#### ● 経営改善計画のモニタリング指導の実施

- ✓ 当該企業の経営体質強化を目的とした経営改善計画の再作成支援、および進捗管理の実施

##### 【取組み結果】

- 定期的なモニタリングにより、経営改善計画策定後の進捗状況や状況把握に努めました。今後も、お客さまの課題を共有しながら改善へ向け一体となって取組んでいくよう努めてまいります。

### (4) 事業再生や業種転換が必要な企業への支援

#### ● 中小企業再生支援協議会、経営改善支援センター等を活用した取引先事業再生支援

- ✓ 中小企業再生支援協議会の相談・助言機能の活用による事業再生支援

##### 【取組み結果】

- 平成27年度内に8件の案件持込を行い、前年度からの繰越案件も含め16件の経営改善計画を策定しました。
- 第三者外部専門家による精度の高い財務・事業調査を実施し、企業実態を把握した上で経営改善計画を策定することにより、効果的で実効性が伴う企業支援を積極的に行っています。

- ✓ 経営改善支援センターの活用による計画策定や保証協会制度利用の促進

##### 【取組み結果】

- 平成27年度内に経営改善支援センターへ12件の案件持込を行い、前年度からの繰越案件も含め10件の経営改善計画を策定しました。また、継続して9件の計画策定を支援しています。
- 保証協会融資の利用先に、保証協会との連携による「バリューアップサポート制度」を活用した経営改善支援を14件実施しました。

- その他の外部機関、ファンド等を活用した取引先事業再生支援

- ✓ お客さまの財務内容等を踏まえた最適な再生手法の検討と、各種外部機関やファンドスキームの活用による企業の早期再生の支援

【取組み結果】

- 北近畿エリアにおいて企業支援の取組みを強化するため、金融機関7行庫（京都銀行・但馬銀行・但馬信用金庫・中兵庫信用金庫・福邦銀行・日本政策金融公庫・当金庫）が主体となり、都道府県の枠組みを超えた中小企業支援ネットワーク「北近畿中小企業支援連絡会議」を平成27年3月に創設しました。本会議では、定期的な情報交換会や勉強会等を8回開催し、個別企業に対する支援取組みの方向性等を関係金融機関と協議し、円滑な再生支援に努めました。また、取引企業や顧問税理士を対象とした経営セミナーを2回開催しました。本会議は、地域金融機関の中小企業支援に対する考え方や認識を共有することで、企業の成長や再生支援のスピードアップを図ることを目的としており、北近畿エリアの地域経済の活性化に資するよう努めてまいります。

(5) 事業承継や後継者問題を抱える企業への支援

- 事業承継問題に対する支援

- ✓ 日本M&Aセンターならびに信金キャピタルのM&A業務スキームを活用した事業承継支援

【取組み結果】

- 事業承継手法のひとつとして、信金キャピタルならびに日本M&AセンターとM&Aの仲介業務に関する協定を締結しました。また、REVICおよび中小企業基盤整備機構より講師を招いて職員向け研修を行い、知識の習得に努めています。

- ✓ お客さま向け事業承継セミナーの開催による事業承継手法の情報提供

【取組み結果】

- 中小企業基盤整備機構の事業承継コーディネーターと職員が同行し、事業承継問題を抱える取引先に対して情報提供を行いました。情報提供を実施した企業先数・・・3社

## 2. 地域の面的再生への積極的な参画

(1) 地域活性化に向けた取組み

- 地方公共団体等と連携した地域活性化策の実施

- ✓ 各自治体の「地方版総合戦略」策定に積極関与し、地域金融機関として取り得る施策の実施

【取組み結果】

- 京都府北部の5市2町を中心に「地方版総合戦略」の策定段階から有識者会議等に参加し、積極的に関与しています。
- 平成27年7月に、全国で最初に「地方版総合戦略」を策定した京丹後市と「地域産業振興に関する連携協定」を締結し、連携協定に基づいて各種施策を実施致しました。

☆ 中小企業基盤整備機構のものづくりマッチングサイト「J-GoodTech（ジェグテック）」の説明会を開催しました。

※説明会参加企業数・・・10社

◇ 京丹後市との共催により、中小企業庁の補助事業「シニア人材による経営支援マッチング」を活用し、経営課題を抱えるお取引先と大企業で長年培ってきた知識や経験、ノウハウをお持ちの「シニア人材」のマッチング事業を行いました。

※「シニア人材による経営支援マッチング」による面談実績・・・16社、79面談

- 平成28年3月に、近畿経済産業局の後援（計31名参加）により京都府北部5市2町の自治体役員・商工会・商工会議所職員を対象に「京都府北部地域活性化勉強会」を開催し、RESASに基づく分析や「しごと創生・産業振興」をテーマにしたグループディスカッションを実施しました。
  - 当金庫の地方創生の取組みについては、京都府北部5市2町を基本とした連携事業の推進を中心に、事務局である舞鶴市と連携した提案を進めています。
- ✓ 「海の京都」による観光事業を展開するお客さまに対し、積極的な情報提供および資金供給の実施
- 【取組み結果】
- 「海の京都博」および京都縦貫自動車道の全線開通など京都府北部への流入が増加し注目度も上がる中、信用金庫の機関紙で当地域のお客さまの紹介を行いました。
- ✓ 他信用金庫にて実施される団体旅行を誘致するなど、業界ネットワークを活用した当地域への集客促進
- 【取組み結果】
- 平成27年10月に、京丹後市及び関係機関と連携した観光キャラバン隊を結成し、愛知県内8信用金庫へ京丹後市への年金旅行等の誘致を行いました。
- ✓ 当金庫役職員による地域ボランティア活動等への積極的な参加と、役職員自身による更なる地域の魅力認識強化
- 【取組み結果】
- 各地区の地域ボランティア活動へ積極的に参加し、美化活動を行いました。
  - 京都舞鶴港に多くのクルーズ客船が入港するようになったのを機に、観光振興に貢献することを目的に「ボランティアガイド研究会」（メンバー13名）を設置し、観光通訳案内のボランティア活動を行いました。
  - 地域の発展のために交流人口を増加させる目的で、当金庫職員自らが営業エリア内の食、景観、歴史文化などを体感し、その溢れる魅力を「観光口コミ情報」としてホームページから広く発信しました。

● 地域活性化につながる金融商品・サービスの提供

- ✓ 商工会議所および観光協会等と連携し、地域の事業者への資金還流を図る、地域内クーポン券付き預金商品の提供

【取組み結果】

- 当金庫営業エリアの商工会・商工会議所と連携し、定期預金商品を通じ地域の豊かな自然や産物など『地域の宝』を再発見していただくとともに地域の事業者へ資金を還流する取組みとして、商工会・商工会議所加盟店等で金券として使える「地域元気！クーポン」を進呈する定期預金キャンペーンを実施しました。また、「海の京都」による観光振興を支援するため、5市2町の観光協会とも連携し、地域の活性化に貢献しました。

◇ ほくと'15夏のキャンペーン 定期預金預入額・・・11,277百万円、クーポン券発行額・・・22百万円

◇ ほくと'15冬のキャンペーン 定期預金預入額・・・12,503百万円、クーポン券発行額・・・24百万円

● 次世代を担う子どもたちへの金融知識の普及

- ✓ 地域の次世代を担う子どもたちを対象に、教育委員会・学校等と連携した「こども金融教室」出前講座の開催

【取組み結果】

- 地域の子供たちが正しい金融知識を身につけ、お金の大切さ、人生設計等を勉強する為に、京都府金融広報委員会より講師派遣の協力を得て「こども金融教室」出前講座を3小学校、2中学校で実施しました。

◇ 京丹後市立間人小学校、与謝野町立岩滝小学校、綾部市立吉美小学校

◇ 舞鶴市立青葉中学校、舞鶴市立城南中学校

- ✓ 職場見学や職場体験学習の積極的な受け入れ

【取組み結果】

- 職場体験学習を前にした挨拶・礼儀等マナー研修の実施

◇ 宮津市立宮津中学校

- 職場体験学習の受け入れ

◇ 宮津市立宮津中学校、舞鶴市立青葉中学校、舞鶴市立白糸中学校、舞鶴市立城南中学校、綾部市立綾部中学校



### 3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

#### (1) お客さまへの積極的な情報発信と信頼関係の強化

##### ● 地域密着型金融の取組みの発信

- ✓ 地域密着型金融の取組み方針・取組み結果を、ディスクロージャー誌、ホームページにより積極的に情報発信

##### 【取組み結果】

- 地域密着型金融の取組み方針、取組み結果を当金庫ホームページにて開示するとともに、10カ年長期経営計画の概要をディスクロージャー誌に掲載しお客さまへの周知に努めました。

##### ● 地域経済の実態調査および情報発信

- ✓ ほくとしんきん中小企業景況レポートの内容充実と、地域の自治体・経済団体への提供、ホームページによる情報発信

##### 【取組み結果】

- 当金庫取引先事業所約570社を対象に地域の景気動向調査を四半期毎に実施し、その結果をレポートとしてまとめています。同レポートは、お客さまに配布するほか、ホームページでも公表しています。

##### ● 金融犯罪防止に向けた取組み

- ✓ 高齢者（年金受給者）を中心にチラシの配布を行い、振り込め詐欺防止の啓蒙活動を実施

##### 【取組み結果】

- 手口が多様化する振込詐欺を未然に防止するため、所轄警察署と連携・協力し高齢者の来店が多い年金支給日を中心に店舗窓口およびATMコーナーにてチラシを配布するなど被害防止活動に努めています。なお、平成27年度は振込詐欺等特殊詐欺被害を未然に防止したとして、大宮支店および舞鶴港支店が京都府警より感謝状をいただきました。

- ✓ 各地域の警察署と連携した「預金小切手を活用した特殊詐欺被害撲滅のための対策（預手プラン）」の周知と活用

##### 【取組み結果】

- 「預金小切手を活用した特殊詐欺被害撲滅のための対策」に取組み、特殊詐欺被害の未然防止に繋がりました。